

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構 外部評価委員会

日 時：令和7年6月24日（火）

10：00～

場 所：徳島市藍場町2丁目14番地
あわぎんホール4階 会議室4

次 第

- 1 開 会
- 2 外部評価委員会設置要綱について
- 3 委員の紹介
- 4 委員長・副委員長の選出
- 5 議事
 - (1) 令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業の評価について
 - (2) その他
- 6 閉 会

以 上

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会 議事録

日 時 令和 7 年 6 月 24 日 (火) 午前 10 : 00～
場 所 あわぎんホール 4 階 会議室 4

司会	1 開 会 10 : 00 定刻となりましたので、ただいまから、「一般社団法人イーストとくしま観光推進機構 令和 7 年度 外部評価委員会」を始めさせていただきます。 はじめに、資料の確認をさせていただきます。 事前にメールでお送りしました資料につきまして、本日は印刷したものをお配りしております。 次第、資料 1「外部評価委員会設置要綱・名簿」、資料 2「令和 6 年度事業報告」、資料 3「地域再生計画」、資料 4「デジタル田園都市国家構想交付金実施計画」、参考資料として「観光 DX しこくろりのチラシ」、「防災ツーリズムコンテンツのチラシ」、「観光パンフレット繁体字版」、「県東部圏域住民意識調査票」の以上、9 点でございます。資料の不足はございませんでしょうか。 また、委員会終了後には、議事録の要旨を作成し、委員の皆さまの確認を経て、委員長承認をいただいた後、当機構及び 15 市町村のホームページにて公開してまいりますので、よろしくお願いいたします。 議事に入らせていただく前に、一般社団法人イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会設置要綱について、事務局より説明します。
事務局	2 外部評価委員会設置要綱の説明 【要綱について説明】 ・新旧対照表を基に、改正点 ・任期が 2 年先の年度末までである ・委員を 2 名追加
司会	3 委員の紹介 ありがとうございました。 それでは、あらためて委員の皆さまのご紹介をさせていただきます。今回から、委員を 2 名追加させていただき、6 名構成とさせていただきました。 豊田哲也（とよだてつや）委員でございます。 高木博代（たかぎひろよ）委員でございます。 佐藤憲治（さとうけんじ）委員でございます。 青木伸太郎（あおきしんたろう）委員でございます。 梯学（かけはしまなぶ）委員でございます。 浅野敏司（あさのさとし）委員でございます。 4 委員長・副委員長の選出

司会	続きまして、本委員会の委員長の選出を行います。委員長は、外部評価委員会設置要綱第4条第2項により、委員の互選で決定することとなっております。本来ですと、委員から仮の議長を選出していただき進行をお願いするところですが、時間の関係もございますので、引き続き事務局で進行させていただきます。 どなたか候補者の推薦があればお願いいたします。
E 委員	引き続き、豊田哲也委員に委員長をお願いしてはいかがでしょうか。
司会	ただ今、豊田委員を推薦するご発言がありました。いかがでしょうか。 【異議なしの声】
司会	それでは、委員長は豊田委員に決定しました。 議事に移りたいと存じます。 委員会の議長は、委員会設置要綱第5条の規定により、委員長があたることとなっております。豊田委員長よろしくをお願いいたします。
委員長	会議の進行につきまして、ご協力よろしくをお願いいたします。 まず、副委員長の選出を行いたいと思います。 副委員長は、外部評価委員会設置要綱第4条第3項により、委員長の指名により決定することになっております。 引き続き、高木委員をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか？ 【異議なしの声】 高木委員、副委員長をよろしくをお願いいたします。
	5 議 事
委員長	それでは、議事に移ります。 本日の議事は、「令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金」を活用した事業の評価と効果検証でございます。 内容について、事務局より、報告をお願いいたします。
事務局	【資料2 前段を中心に説明】
委員長	ただ今の説明について、ご質問はございますか。 ないようですので委員の皆さまからご意見を頂戴したいと思います。まずはA委員、いかがですか。
A 委員	旅館業をしていますが、国や県の補助金で半額補助してもらったために残りの半額を捻出しないとなりませんが、結局「自分のやりたいこと」じゃないこ

	とをやる場合も出てくる。そうすると、旅館の個性＝アイデンティティがなくなってしまう気がするんです。 補助金って「ありがたい」反面、足かせにもなりますよね。形式的な要件に縛られると、本来の目的が見えなくなることもあります。 KPIを見ると、「来訪者満足度」は上がってるけど、「住民満足度」はまだまだ低く感じます。訪れる人に「いい街」と思ってもらうには、まずは、住んでいる人が「いい街」だと思えるようにしていかなければなりません。
B 委員	私が文化振興をやっている時のモットーが「ずっと住み続けたいと思える街をつくる」だったんです。イベントなどの時のにぎわいだけでなく、住民の誇りや喜びがあってこそ観光は成立します。
A 委員	実際、インバウンドのお客さんが駅から眉山に歩いてると、地元の人が「行くところないのにどこ行くんだろう」って心配することがある。こういった発言は、住民の側が、自分の町に対して誇りを持っていない証拠かもしれません。
委員長	データで気づいた点を指摘します。KPI で宿泊者数の推移を見ると、2020 年から 2024 年にかけて倍増しています。しかし、2020 年はコロナで極端に宿泊者が減少した年で、これを基準とするのは不適切です。比較すべきはコロナ前の 2019 年ではないでしょうか。
事務局	おっしゃる通りです。デジタル田園都市国家構想交付金の計画作成時点が 2020 年だったので、その年をベースにしましたが、2019 年のデータも持っています。たしかに 2019 年には 206 万人、2020 年には推計値ですが、109 万人まで落ちこみ、その後 2023 年ごろにようやく回復していった状況です。
委員長	他県とクロスセクションで比較することも大事ですね。隣の香川、高知や、奈良、島根、鳥取あたりの観光回復データを横並びで見ることで、徳島の強みと弱み、回復の程度が明確に示せるはずです。
B 委員	農村舞台の復活を支援した時もそうでした。子や孫も外に出て、地域の未来に希望が持てなかった人たちが、舞台をやることでたくさん人が来て、誇りを取り戻しました。「自分の村はすごい」って初めて思えたんです。観光協会や DMO は、プロモーション重視になりがちですが、それだけではなくて「地域に根差した観光コンテンツ」を育てる役割も果たさなきゃいけない。たとえば、新町川を守る会のような市民活動を DMO が支援してもいいと思うんです。観光だけが担うことではないんですが、地道な取り組みも視野に入れていただければなと感じています。
委員長	本当にそうですね。地域づくりで「誰がやるのか」は永遠の課題です。「連携して取り組みます」という常套句は、裏を返せば「誰も責任を取らない」他人まかせになりかねません。

B 委員	一人でも始める人がいれば変わるんですよ。新町川の中村さんなんか、毎日川に立って掃除してる。「誰もやらなくても自分がやる」って言い切れる人が一番の文化人だと思います。 温暖な気候で水もたっぷりあって特に吉野川周辺は肥沃な土地があり、その土地で藍を作って経済も人形浄瑠璃も発展してきました。その徳島のストーリーを全面に押し出していく。そういった大きな意識の変革や共通認識を持つことこそが文化だと思っています。
C 委員	最近はマルシェとか水辺のイベントで、ちょっとずつ賑わいが戻ってきてる感じもある。そこに外国人が来てくれたりすると、住民も嬉しくなる。そういう循環を増やしたいですね。先日新町川で行われていたコーヒーのイベントもすごい盛り上がりでした。
A 委員	結局、「住んでよし、訪れてよし」は、観光だけでなく、文化、教育、暮らしすべてに繋がっていき、その結果、町の魅力が向上していくこととなるということですよ。
D 委員	日本の DMO は国の交付金の活用方法として注目され増えてきた側面があり、交付金・補助金に頼った運営になるのは仕方ない面があると思います。一方で全国どこの DMO も体験型コンテンツの造成や磨き上げなど、やっていることが似たり寄ったりです。抱えている悩みも同じです。どう差別化していくかが課題ではないでしょうか。
事務局	たしかに、補助金を確保することに大きな労力を要しているのも事実です。少しずつでも「補助金に頼らない仕組み」も考えていかないといけない時期にきているのかもしれない。
D 委員	DMO の最終的な目標は地域住民の生活水準の維持・向上だと思います。そういう意味で住民満足度調査の結果は重要です。地域の人々からすると、観光は自分達と関係ない専ら“外向きの話”だと誤解されているところがありますが、地域住民のための取り組みであることをもっと理解していただくために地域住民向けの直接的な取り組みも必要かもしれません。例えばレストランウィークみたいな企画を DMO が地域の飲食店と一緒にやってみたらどうでしょう。結構古めかしい手法ではありますが、アメリカの大都市では飲食店の閑散期に合わせてやっています。最初は徳島市だけでも、10 店舗ぐらいから始めて、ちょっと高くても普段は行けないようなレストランや料亭に協力してもらって、地元食材を使った限定ランチを例えば 2,500 円とかで出させていただく。地元の人にとったら普段行けない飲食店に行く良い機会になりますし、それを目当てに近隣から観光客がくるかもしれない。お店にとっても新規顧客の獲得につながります。地域住民が DMO を身近に感じることができ、観光振興事業への理解にもつながると思います。 今日、私は阿波市から来ていますが、DMO の方々には日頃から本当にお世話になっています。プロダクトアウトの商品造成も大事ですが、マーケットインの発想により、データに基づいたマーケティング戦略をより充実させていただきたいです。事業者との距離が近いイーストさんならではの、各市町村の観光政策の指針になるようなマーケティングに大いに期待しています。

E 委員	最近「シビックプライド（地域への誇り）」を高めるにはどうしたらいいかというテーマで調査してるんですが、ポイントは、10 代後半から 20 代前半の若者が地域に主体的に関わろうとする環境があるか。そうした活動をしている大人の姿が若者に見えているかが大事です。 そうした意味では、イーストさんでは、昨年高校生に出前授業をされていましたが、その取り組みはシビックプライドを醸成する上でプラスになったのではと思います。
委員長	若年層への働きかけは非常に大事ですね。徳島大学・徳島県・イーストとくしまで共催している「観光コーディネーター養成講座」もありますが、大学生では遅すぎるくらいで、中高生のうちに地域への愛着を育てる教育が必要だと思います。学校への出前授業や地域での体験を、教育委員会や学校と連携してもっと広げられたらよいのではと思いました。 他に意見はございませんでしょうか。
E 委員	インバウンドを取り込むには「直行便の開設」、「買い物や滞在の拠点化」が重要ですが、もう一つが既にインバウンドが来ているエリアの成功体験を研究し、自分たちのエリアにも取り入れ、できれば連携していくことが重要です。例えば、瀬戸内国際芸術祭のようなイベントと連携できれば、香川県や淡路島といった周辺地域と手を取り合うことで、徳島にも波及効果が出る可能性があると思います。 ただ、広域連携には県や市の意向も絡むので、現実的にはハードルが高く、香川県主導のイベントなので、徳島が入っていくのは難しいかもしれません。しかしながら、徳島独自でなにかをやろうとしようとするれば、ブランド構築に何十年もかかってしまうことを考えれば、連携を模索するのが一番の近道になります。
A 委員	徳島は観光が基幹産業じゃない県ですからね。製造業に支えられてきた歴史があります。香川や高知と違って、観光予算も 1 桁 2 桁違いますし。ただ、観光で地域を元気にしようという“危機感”が少ないのは気になります。
委員長	他に外貨を稼げる有力な産業があるから観光に頼らないというのは一見よいことに見えますが、その産業が衰退した時、何が残るのか。観光は稼ぐことだけが目的でなく、地域の誇りや魅力を高め伝える手段でもあります。しかもそれがビジネスになり利益を生めば一石二鳥ですね。
A 委員	“観光って特定の業者だけが儲けてるんじゃないか”って声をたまに耳にします。でも、それだけで片付けるのはちょっと違う気がするんです。やっぱり大事なのは、観光で得た価値をどのようにして地域全体に還元していけるか、意識の持ち方ひとつで、地域の在り方も変わってくると思います。
B 委員	中村さんの例で言うと、ボランティアで頑張ってる面もあるけれど、持続可能なものにしていくには、少しずつ外貨を稼いでいく仕組みをつくる必要があります。

D 委員	2002 年の日韓 W 杯の頃は年間の訪日外客数が 500 万人を突破したとニュースになったのを覚えています。今は環境が全然違います。インバウンド関連の事業者も増え、“観光で食べていく”という意識自体が 20 年で大きく変わりました。
事務局	インバウンドは数字が示しているとおりのかなりの追い風だと感じています。今、日本全体で年間 3,600 万人超の観光客が訪日しました。実際に来てくれた外国人観光客が“徳島いいね”って言ってくれと、それを聞いた地元の人が『そんなに良かった？』って驚くことが多いんです。他者からの評価が、地域の誇り＝シビックプライドにつながる部分もあるのではないかと思います。
A 委員	国は将来的に 6,000 万人を目指していますよね。そうすると、もう大都市だけでは受け入れきれない。地方が担うしかないんですよ。徳島もその一角として、今の年間 15 万人から 30 万人を目指すには、地元の商店や飲食店も“受け入れる覚悟”が必要だと思います。
委員長	それだけ観光への期待は大きいということで、様々な意見やアイデアも出していただき、非常に有意義な時間となりました。予定の時間になりましたので意見交換はここまでにしたいと思います。
事務局	本日は、委員の皆さま方から大変参考となるご意見を頂きました。ありがとうございます。 今年度の事業に活かしてまいりたいと思います。
委員長	それでは、最後に事務局からその他の事項の説明をお願いします。
事務局	会議冒頭にも申し上げましたが、本日の議事録は、要旨を当機構や 15 市町村のホームページで公開することにより、地域住民に広く周知していくことといたします。後日、メールで議事録の確認のお願いをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。
	6 閉 会
司会	これをもちまして、本日の外部評価委員会を閉会いたします。 委員の皆さまには、円滑な議事進行にご協力をいただくとともに、活発なご意見を賜り誠にありがとうございました。
	(終 了) 時刻 11 時 45 分

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構 外部評価委員会設置要綱

（目的）

第1条 一般社団法人イーストとくしま観光推進機構（以下、「機構」という。）が、交流人口の増加や徳島県東部圏域の活性化を図るため、デジタル田園都市国家構想交付金を活用して実施する事業の評価や効果等を検証するため、一般社団法人イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会（以下、「委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事務を所掌する。

- （1）徳島県東部圏域の延べ宿泊者数、観光入込客数等の重要業績評価指標の評価や検証に関すること。
- （2）重要業績評価指標の進行管理に関すること。
- （3）その他必要な事項についての提言に関すること。

（組織等）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員で構成する。

- （1）学識経験者
- （2）観光地域づくりに関連する者
- （3）その他、必要と認められる者

2 委員の任期は、要綱の施行の日から令和9年3月31日までとし、再任を妨げない。委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

（役員）

第4条 委員会には次に掲げる役員を設置する。

- （1）委員長 1名
- （2）副委員長 1名
- 2 委員長は、委員の互選による。
- 3 副委員長は、委員長の指名による。
- 4 副委員長は、委員会の進行にあたり、委員長を補佐し、委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条 委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。

（庶務）

第6条 委員会の庶務は、機構事務局において所掌する。

（その他）

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項については、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成31年1月18日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年6月9日から施行する。

附 則

この要綱は、令和7年6月19日から施行する。

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構
外部評価委員会委員名簿

(任期：令和7年6月19日～令和9年3月31日)

	氏 名	所属等	区分
委員	豊田 哲也	徳島大学 教授	学識経験者
委員	高木 博代	モンドジャコモ有限会社 代表取締役	女性経営者
委員	佐藤 憲治	NPO法人 阿波農村舞台の会 理事長	NPO法人
委員	青木 伸太郎	徳島経済研究所 上席研究員	経済団体
<u>委員</u>	<u>梯 学</u>	<u>ホテルサンシャイン徳島 総支配人</u>	<u>宿泊事業者</u>
<u>委員</u>	<u>浅野 敏司</u>	<u>スモトリ屋浅野総本店</u> <u>代表取締役</u>	<u>遍路関係事業者</u>

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構
令和 6 年度 事業報告

外部評価委員会
(デジタル田園都市国家構想交付金 外部評価委員会)
2025 年 6 月 24 日

議事内容

デジタル田園都市国家構想交付金の概要

議事内容

●デジタル田園都市国家構想交付金の概要

＜デジタル田園都市国家構想交付金とは＞
「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、地方の再生に係る自主的・主体的な事業を記載し作成した、「地域再生計画」を内閣総理大臣が認定。同計画に基づく取組みに対して、国が各種支援を行う。

国【内閣府】

計画申請
計画認定・交付金等の支援

15市町村
地域計画策定主体

各種連携等
交付金を財源に負担金を支払い

イーストとくしま
事業の実施
イーストとくしま外部評価委員会
事業の効果検証

＜認定された地域再生計画＞
認定日：R3.3.30内閣総理大臣認定
計画の名称：イーストとくしまDMOニューツーリズム推進による新たな事業創出による地域活性化の実現
計画期間・採択事業費：R3～R7年度の5年間、5か年事業費153,920千円

＜事業の効果検証＞
事業の実施主体者となるイーストとくしまでは、国の「デジタル田園都市国家構想交付金制度要綱」に基づき、地域の実情に応じて、**効率的かつ効果的な事業に努める**。効果測定においては、**客観的な指標（KPI）を設定し、達成状況を検証**。

＜外部評価委員会＞
「イーストとくしま外部評価委員会設置要綱」に基づき、**毎年度の交付金事業の効果検証のため**、学識経験者等の第三者による**事業評価・効果検証**を行い、結果を当機構や市町村のHP等で公表。

3Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.

議事内容

●デジタル田園都市国家構想交付金の概要

徳島東部の構造的な課題

○徳島東部には、「阿波おどり」や「鳴門の渦潮」といったキラーコンテンツはあるが、通年型・滞在型の観光に至らず、**宿泊者数では、全国でも下位の常連**。
○地域の魅力度ランキングでも、全国的に下位で、**地元を愛し、地域の価値を理解してもらい、観光地としての魅力の底上げを図るシビックプライドの醸成も喫緊の課題**。

徳島東部の目指すべき将来像

○人口減少社会で、「外貨」の獲得と地域住民の活躍の場を創出できる“観光”を地域活性化の切り札として捉え、「訪れてよし」、「住んでよし」の観光地域づくりを推進し、**持続可能な地域づくりを目指す**。

事業の実施内容

○**ニューツーリズム推進事業**
伝統文化、遍路、自然などを融合した地域固有の体験型アドベンチャーツーリズムの推進、豊富な農産物や地域資源を活かしたコンテンツを観光資源として磨きあげ、「ニューツーリズム」として推進。
○**シビックプライド醸成・人材育成事業**
観光業での創業や新ビジネス創出に繋がる人材育成の取組みを推進するほか、観光ガイドなどの養成に取り組む。また、地域住民向けのSNS情報発信で、住民が地域の魅力を再発見する取組みを行う。
○**面的DXの推進事業**
観光アプリ「しこくる」を用いて、徳島東部が一体となって、旅行者へのシームレスな旅を提供するとともに、本格的なDMPとCRMを推進。
○**大阪・関西万博関連事業**
万博開催の機会を活用し、関西の関係機関と連携した広域周遊コンテンツの造成や、関西での集中的プロモーションによる誘客を促進。

4Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.



<説明Ⅰ>

観光消費額、延べ宿泊者数等の各種KPI指標について
地域再生計画数値目標数値（重要業績評価指標 K P I）について
その他KPI達成状況について

<説明Ⅱ>

決算状況
令和 6 年度決算等の状況について
令和 6 年度の事業について

<説明Ⅲ>

デジタル田園都市国家構想交付金を活用した取組みについて

<説明Ⅳ>

交付金以外の財源を活用した取組みについて

説明Ⅰ

各種KPI指標

議事内容：説明Ⅰ

●各種KPI指標

地域再生計画数値目標数値（重要業績評価指標KPI）について

※ 資料4 実施計画より

項目		2020(R2) 計画前 推計値	2021(R3) 1 年目	2022(R4) 2 年目	2023(R5) 3 年目	2024(R6) 4 年目	2025(R7) 5 年目	KPI増加分 の累計
1人あたり観光消費額 (千円)	目標	24	28 (+4)	38 (+10)	41 (+3)	43 (+2)	50 (+7)	26
	実績		22 (-2)	34 (+12)	32 (-2)	41 (+9)		17
延べ宿泊者数 (万人)	目標	109.2	144.2 (+35.0)	206.2 (+62.0)	209.2 (+3.0)	214.2 (+5.0)	230.0 (+15.8)	120.8
	実績		110.2 (+1.0)	135.5 (+25.3)	181.7 (+46.2)	210.4 (+28.7)		101.2
来訪者満足度 (大変満足・%)	目標	37.7	38.2 (+0.5)	39.2 (+1.0)	40.2 (+1.0)	41.2 (+1.0)	42.2 (+1.0)	4.5
	実績		41 (+3.3)	38.7 (-2.3)	39.4 (+0.7)	46.5 (+7.1)		8.8
※ 住民満足度 (とても満足 及び満足・%)	目標	-	-	35.5 (+2.0)	36.5 (+1.0)	37.5 (+1.0)	38.5 (+1.0)	5.0
	実績		33.5	32.3 (-1.2)	35.0 (+2.7)	36.5 (+1.5)		

※R3にはしめて実施。3か年増加分「+3%」を達成するため、R4+2%、R5+1%の目標設定とする。

令和6年度達成状況について

・地方でも、インバウンドが増加傾向で、観光消費額や延べ宿泊者数ともに上昇し、計画値に近い実績値となった。

・来訪者満足度は、対前年度比較から大きく増加に転じた。

・住民満足度では、567件のサンプル数を回収したが、地域で暮らす満足度が対前年度よりも1.5ポイント上昇した。

7

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.

議事内容：説明Ⅰ

●各種KPI指標

その他のKPI達成状況について

出典：観光庁ほか

項目		2021		2022		2023		2024	
リピーター率 (%)	目標	54.3		54.3		54.5		54.5	
	実績	50.6	93.2%	51.1	94.1%	48.1	88.3%	51.9	95.2%
累計Webサイト アクセス数 (万PV)	目標	120.0		150.0		130.0		160.0	
	実績	67.5	56.3%	104.7	69.8%	158.2	121.7%	215.2	134.5%
観光入れ込み客数 (万人)	目標	1480.0		1495.0		1400.0		1420.0	
	実績	847.9	57.3%	1063.5	71.1%	1153.6	82.4%	集計中	
着地型旅行商品 造成数 累計	目標	60		80		100		120	
	実績	108	180.0%	120	150.0%	138	138.0%	162	135.0%
ツアー造成 支援数 累計	目標	75		100		125		150	
	実績	58	77.3%	83	83.0%	106	84.8%	130	86.7%

令和6年度達成状況について

・来訪者リピーター率は、前年度より上昇しているものの、目標値には届いていない。

・累計Webサイトアクセス数は、順調に増加しており、認知度向上が図られている。

・着地型観光旅行商品造成数も順調に増加。今後は、プロモーションの強化に努める。

・ツアー造成支援数では、目標値には届いていないが、毎年一定数増加している。

8

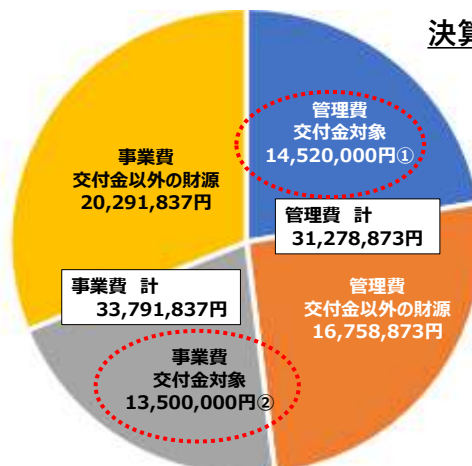
Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.

説明Ⅱ

決算状況

令和6年度決算等の状況について

決算額 65,070,710円



地方創生推進交付金対象① + ②
28,020,000円

管理費	31,278,873
地方創生推進交付金対象	14,520,000
事業費	33,791,837
地方創生推進交付金対象	13,500,000
決算 合計	65,070,710
地方創生推進交付金対象	28,020,000

管理費：職員人件費、事務所賃料、光熱費などの組織の管理運営経費
事業費：誘客促進のための各種取組みに係る費用

議事内容：説明Ⅱ

●決算状況

令和6年度決算等の状況について

デジタル田園都市国家構想交付金の事業経費内訳

(単位：円)

	計画額 A	実績額 B	差 B-A
管理費 I	14,520,000	14,520,000	0
(1)誘客促進に係る職員等件費・組織管理運営に係る経費	14,520,000	14,520,000	0
事業費 ①+②+③+④ II	13,500,000	13,500,000	0
①新たな旅行スタイルに対応したニューツーリズムの推進事業	6,800,000	6,800,000	0
SNSプロモーション・HP情報発信・観光素材集製作費	5,200,000	5,923,000	723,000
A.T・S.Tの造成・磨き上げ費（委託費）	1,300,000	770,000	▲ 530,000
ニューツーリズム推進に係る事務費	300,000	107,000	▲ 193,000
②シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進	3,600,000	3,600,000	0
観光満足度・住民満足度調査費	1,500,000	2,015,000	515,000
マイクロツーリズム推進費用	800,000	1,200,000	400,000
観光人材育成費	500,000	137,200	▲ 362,800
観光地域まちづくりWG運営費	600,000	198,770	▲ 401,230
光"ツカ"ライト"醸成に係る事務費	200,000	49,030	▲ 150,970
③面的DXの推進	1,600,000	1,600,000	0
周遊促進に向けた企画商品開発・運営費	1,000,000	706,000	▲ 294,000
観光デジタル人材の育成費	500,000	847,000	347,000
面的DX推進に係る事務費	100,000	47,000	▲ 53,000
④大阪・関西万博関連事業	1,500,000	1,500,000	0
周遊コンテンツの造成費	800,000	1,000,000	200,000
関西方面での集中プロモーション費用	700,000	500,000	▲ 200,000
合 計 I + II	28,020,000	28,020,000	0

11

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.

議事内容：説明Ⅱ

●決算状況

令和6年度の事業について

★デジ田交付金を活用した事業 **R6：13,500,000円**

【主要な事業】

- ファムツアー・メディアツアーの実施、展示会・商談会への出展
- 防災ツーリズムコンテンツ造成事業 **(1,270千円)**
- 日本の伝統文化体験コンテンツ造成事業 **(1,000千円)**
- 劇場型クルーズ「ひょうたん島大作戦」事業 **(200千円)**
- WEB・SNSプロモーション事業 **(4,800千円)**
- HP運営事業 **(726千円)**
- 多言語対応観光パンフレット制作事業 **(1,188千円)**
- 観光デジタル人材育成支援事業 **(850千円)**
- 観光コーディネーター養成講座の開催 **(137千円)**
- 観光地域づくり住民意識調査・観光アンケート調査 **(2,015千円)**
- 観光地域まちづくり会議等開催費 **(199千円)**

12

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.



令和6年度の事業について

★デジ田交付金以外の財源を活用した事業

・観光庁などの国の補助金、県の補助金、市町村等からの事業受託

- 広域周遊観光サイクルツーリズム造成事業（2,000千円：観光庁補助事業）
- 徳島古代史周遊コンテンツ造成事業（370千円：県補助事業）
- 小松島・勝浦ファムツアー事業（768千円：県補助事業）
- 藍のれんあるまちづくり推進事業（1,248千円：県補助事業）
- 観光アプリ「しこくる」を活用した面的DX推進事業（3,283千円：県補助事業）
- 徳島東部旅キャンペーン企画・運営事業（1,738千円：県補助事業）
- 大阪での阿波人形浄瑠璃と阿波おどりPRイベント事業（1,650千円：徳島市からの受託事業）
- ワークेशनプラン造成事業（200千円：ANAあきんどからの受託事業）
- 香港からの誘客に向けた阿波おどりプロモーション事業（2,000千円：徳島市からの受託事業）

説明Ⅲ

デジタル田園都市国家構想交付金を活用した取組み

議事内容：説明Ⅲ

ファムツアー・メディアツアー・展示会・商談会

令和2～3年度のコロナ禍以降
国補助事業等を活用し、魅力的なコンテンツを造成・磨き上げ

四国の入り口～鳴門活性化～

HIKE！TOKUSHIMA

上勝サスティナブルツアー

Food & クラフト体験

カンバイ徳島

歩き道路と阿波藍の特別体験

令和6年度における重点施策は、2025大阪・関西万博を見据え
「造成したコンテンツを販売に繋げる」こと それに向けて
・ファムツアー・メディアツアー・展示会・商談会・情報発信を積極的に推進する

15

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.

議事内容：説明Ⅲ

ファムツアー・メディアツアー・展示会・商談会

主催（9回）

No.	日程	内容	行程	参加者
1	10/7-8	サイクルツーリズムモニターツアー	徳島、松茂、鳴門、板野、上板、阿波、吉野川	サイクルツーリズム有識者 4名
2	10/27	劇場型クルーズ「ひょうたん島大作戦」モニターツアー	徳島	一般公募 12名
3	11/24-25	歴史・文化コンテンツファムツアー	徳島、神山、佐那河内、石井	国内旅行会社 4社(5名)
4	11/27-28	JAPAN BLUE WALK モニターツアー	徳島、藍住、石井	SAGOJO旅人(台湾) 1名 一般公募 1名
5	12/7-8	徳島の伝統・文化体験ファムツアー ～五道+1の旅～	徳島、石井、松茂	観光有識者 1名 外国人インフルエンサー 3名
6	12/9-10	JAPAN BLUE WALK モニターツアー	徳島、藍住、石井	SAGOJO旅人(フランス) 1名 一般公募 1名
7	12/11-13	阿波花火と阿波遍路で巡る唯一無二の 伝統文化体験ツアー	小松島、勝浦	国内旅行会社 3社(3名)
8	2/23	劇場型クルーズ「ひょうたん島大作戦」モニターツアー	徳島	一般公募 13名
9	3/8	防災ツーリズムモニターツアー ～先人の教えに出会う旅～	徳島、石井、藍住	一般公募 7名

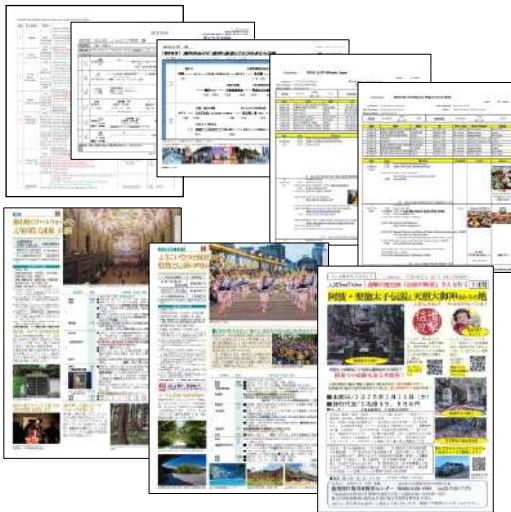
16

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.

8

ファムツアー、展示会・商談会等から新たなツアー造成やメディア露出に繋がった事例

ツアー造成実績



メディア露出実績

■「National Geographic」に掲載



▲2024年5月号（冊子）

公式サイト▲

2023年に弊機構が受け入れたメディアツアーの際に訪問した藍染工房の体験記が、ツアー参加者によって執筆・寄稿され、掲載。

■日本テレビ「ZIP!」の撮影協力



朝の全国放送の情報番組に、弊機構が撮影協力。

「先人の教えに出会う旅」をテーマに徳島東部エリアに残る高地蔵や石碑等の防災関連遺産を巡る体験を旅行商品化。地域住民による「防災まちガイド」も育成。

①吉野川流域の防災関連遺産を巡る体験の磨き上げ



四国防災八十八話マップから、徳島東部エリアのスポットを抽出。「吉野川の恵みと災い」を感じてもらうべく、恵みの代表格である「藍」を体験できる藍の館等の観光施設も織り交ぜコースを造成。



3/8(土)には、モニタツアーを開催。ガイド6名がお客様7名に対し防災まちガイドとして、ガイドを実施。

②「防災まちガイド」の育成



2024年12月～2025年2月に全5回の研修・勉強会を実施



←徳島新聞に掲載
| 2025.1.13

読売新聞に掲載→
| 2025.2.19



議事内容：説明Ⅲ

日本の伝統文化体験コンテンツ造成事業

「徳島で味わう日本の道」をテーマに日本の6つの伝統文化体験コンテンツを造成。

12/7-8にはファムツアーを実施し、販売に向けた磨き上げを推進。

①徳島ならではの要素を含む日本の伝統文化体験コンテンツを造成

②ファムツアーを開催（12/7-8）



茶道
Tea ceremony



舞道
Traditional Japanese Dance



華道
Ikebana



古武道
Classical Japanese Martial Arts



書道
Japanese Calligraphy



遍路道
Shikoku Pilgrimage Route



徳島新聞に掲載 | 2024.12.8(土)朝刊↓



21

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.

議事内容：説明Ⅲ

劇場型クルーズ「ひょうたん島大作戦」事業

「ひょうたん島クルーズ」を活用し、新たに体験型の演劇プログラムを盛り込んだコンテンツを造成

徳島市を拠点に活動する「劇団まんまる」の劇団員が、クルーズ船に乗り込むクルー(ガイド役)となり、乗船客は、ひょうたん島の周遊コースの各ポイントにまつわるエピソードを交えた物語に参加

第1回モニターツアー

第2回モニターツアー

2024.10.27 10時発・12時発の2便
(参加料：無料)



2024.11.6 徳島新聞

一般申込12名(県内)が参加
参加者の満足度：平均9.4点/10点

2025.2.23 10時発・12時発の2便
(参加料：大人2,000円/小学生以下1,000円)



一般申込13名(県内6名・京都6名・香川1名)が参加
参加者の満足度：平均9.3点/10点



4/27より
本格運航開始予定
毎月 とくしまマルシェ
開催日に運航



22

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.

11



徳島東部エリアを旅の候補地に入れてもらうべく、観光スポットや体験の情報を拡充



R5 約51万PV／年 ▶ R6 **約53万回** 表示／年（前年比 103.7%）

※Googleアナリティクスの計測方法の仕様変更により、単位変更（PV→表示回数）



写真の閲覧数1,900万回 突破（累積）

R5年 約1300万回 ▶ R6 **1,924万回** (594万回増)



フォロワー数 R5 1,344 ▶ R6 **3,347** (前年比 249%)



フォロワー数 R5 14,600 ▶ R6 **19,428** (前年比 133%)



フォロワー数 R5 1,309▶ R6 **3,502** (前年比 267%)



統一感をもたせ、リール投稿・広告配信でリーチを拡大し、フォロワー獲得

①表紙付き投稿による統一感の向上・世界観の醸成

(※4:5対応含む：Instagramの仕様変更に伴うもの)



②安定したリール投稿と広告配信

・年間80本のSNS投稿のうち
半数以上をリールにすることを
年度当初に決定・公募開始。

・広告を配信することで、
徳島への旅行に関心を抱く
興味関心層にリーチし
フォロワー獲得に寄与
(Instagram・Facebook)

※キャプションの日本語/英語併記は
R5年度より継続。

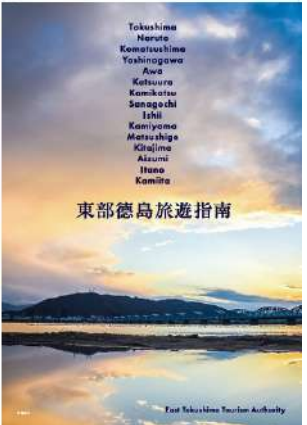
R5 14,600人

▶ R6 **19,428** 人 (前年比 **133%**)

議事内容：説明Ⅲ

多言語対応の観光パンフレット制作

国際定期便就航にあわせて、より身近になった、東アジアをターゲットにして、香港や台湾からの誘客促進のため、**繁体字版の観光パンフレット**を制作



25

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.

議事内容：説明Ⅲ

デジタル人材育成講座の実施
映像クリエイターによるSNS発信の映像製作講座

SNS総フォロワー数400万人の人気映像クリエイター「あぁあつし」による市民向け特別講座・映像制作

徳島市立高校・四国大学交流プラザ合わせて100名が参加

徳島・鳴門 1日モデルプラン | 2日間で10ヶ所 | 撮影の裏側



26

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.



徳島大学・徳島県と連携し、観光業界のトップランナーを招いた講座を実施

観光コーディネーター養成講座

【主催】一財）イーストとくしま観光振興機構
【協賛】徳島大学、徳島県

【受講料】無料
【申込費】10,000円（税込）
【申込先】イーストとくしま観光振興機構 事務局
〒760-8502 徳島県徳島市東区南町1-1-1 徳島大学 経済学部に隣接するイーストとくしま観光振興機構 事務局
TEL: 087-831-2222 FAX: 087-831-2223 E-mail: info@east-tokushima.jp

【11月5日（月）18:30~20:00】
「観光地のフードダイバーシティ」
講師：守藤 彰浩（株）フードダイバーシティ 代表取締役社長

【11月12日（月）18:30~20:00】
「世界が注目する日本のアドベンチャーツーリズム」
講師：山下 真輝（株）JTB総合研究所 代表取締役社長

【11月19日（月）18:30~20:00】
「観光地域経営のあり方」
講師：山田 桂一郎 JTIC.SWISS 代表取締役社長

【11月26日（月）18:30~20:00】
「逆転の発想で地域の困りごとを地域の宝に変えるコツ」
講師：吉田 秀政（公社）とやま観光推進機構 代表取締役社長

【12月3日（月）18:30~20:00】
「逆転の発想で地域の困りごとを地域の宝に変えるコツ」
講師：吉田 秀政（公社）とやま観光推進機構 代表取締役社長

【12月10日（月）18:30~20:00】
「地域文化の伝承と観光コンテンツ」
講師：徳島県立阿波十部兵衛屋敷 代表取締役社長 佐藤 憲治

【12月17日（月）18:30~20:00】
「クルーな田舎をプロデュース 〜地域「のありのまま」で世界を魅了する〜」
講師：（株）美ら地球（ちゅらぼし） 代表取締役社長 山田 拓

【12月24日（月）18:30~20:00】
「観光地の発展とその持続可能性について」
講師：広島大学総合科学部 教授 フンク カロリン

【申込方法】
① 申込書・申込料を事務局へ提出。
② 申込書・申込料を事務局へ提出。
③ 申込書・申込料を事務局へ提出。

- 第1回 観光業のフードダイバーシティ
（株）フードダイバーシティ 守藤彰浩
- 第2回 世界が注目する日本のアドベンチャーツーリズム
（株）JTB総合研究所 山下真輝
- 第3回 観光地域経営のあり方
JTIC.SWISS 山田桂一郎
- 第4回 逆転の発想で地域の困りごとを地域の宝に変えるコツ
（公社）とやま観光推進機構 吉田 秀政
- 第5回 地域文化の伝承と観光コンテンツ
徳島県立阿波十部兵衛屋敷 佐藤 憲治
- 第6回 クルーな田舎をプロデュース
〜地域「のありのまま」で世界を魅了する〜
（株）美ら地球（ちゅらぼし） 山田 拓
- 第7回 観光地の発展とその持続可能性について
広島大学総合科学部 フンク カロリン
- 7回総受講者数 619名



観光客だけではなく、「住んでよし」のまちづくりのため住民の観光に関する意識を調査

▶ 調査目的

- 観光推進のステークホルダーである「住民」における観光推進の浸透度や意思の把握など、DMOの活動やビジョンなどのインパクトの現状を理解する
- 住んでよしの地域づくりを行う上での戦略策定の基礎材料とする

▶ 調査対象

- 「徳島県東部圏域」エリアに在住者 計2,000名
- 住民基本台帳より無作為抽出。
- 徳島県東部圏域エリア15市町村の人口構成に合わせ配布を行う。

▶ 調査方法

- 郵送によるアンケート調査
- 郵送にて調査票発送・回収。
- 一部インターネット調査
- パソコンやスマートフォンから回答できる画面を用意し、郵送アンケートの調査票にURL・QRコードを記載。

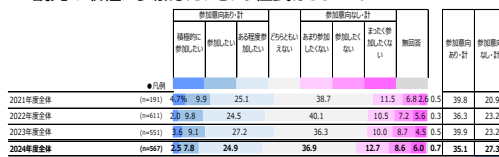
▶ 調査期間

- 調査票発送：2024年11月末〜12月2週目
- 個人情報保護の観点より、アンケート・返信用封筒を封入し切手をつけたものを各市区に配送し、各市区で宛名を貼り投函いただいた
- 回答締切：2025年1月24日（金曜祝祭日）
- 24日以降1月中旬の回収分は有効回答数に含む

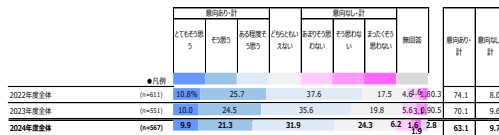
▶ 回収数

- 567件（回収率 28.4%）
- うち、インターネット回答 188件

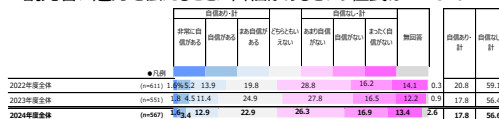
■ 観光の取組に参加したいという住民は35.1%



■ 観光客に魅力を伝えたいと考える住民は63.1%



■ 観光客に魅力を伝えることに自信があるという住民は17.8%





宿泊事業者の皆様と、県東部圏域の観光地域づくりに向けた**意見交換会**を開催（R6新規）



第1回 意見交換会

日 時：令和6年7月3日（水）13:30-15:30

場 所：アスティとくしま 1F 第1会議室

出席者：宿泊施設 18施設・21名
わがサ-ハ 10名（観光協会・DMO等）
事務局 5名

議 題：・県東部圏域の観光を取り巻く現状と課題
・延べ宿泊者数の増加に向けた地域として
取り組むアイデア

その他：・「宿泊事業者の皆様に向けた支援制度」
・「しこくuriを使った面的DXの取組」
等について当機構から情報提供



第2回 意見交換会

日 時：令和7年1月29日（水）13:30-15:30

場 所：アスティとくしま 1F 第1会議室

出席者：宿泊施設 17施設 19名
わがサ-ハ 14名（県・観光協会・DMO等）
事務局 6名

議 題：・万博や国際定期航空路線の運航を契機にした
誘客促進について
・持続可能な観光地づくりについて

その他：・「万博開催に向けたイーストとくしまの取組」
・「しこくuriを使った面的DXの取組」
等について当機構から情報提供



地元高校の「総合的な探究の時間」に弊機構職員が**講師として参加**、生徒の学びをサポート

徳島市立高校

- ・徳島市立高校が実施する「**産官学連携総合学習(IRP)**」に参画する徳島市、楽天グループに弊機構が連携
→2030年の地域課題解決（SDGs）に向けた徳島、日本及び世界の地域・企業など多様な主体の協業として、「**国際**」分野の授業で参加
- ・弊機構は3回の授業を担当（座学と現場視察のサポート）
- ・講義内容：**インバウンド観光を取り巻く背景**
→DMOの仕事紹介、訪日観光の特徴・徳島への訪日状況、徳島を世界に知ってもらうための手法などを講義
5/24 インバウンド観光を取り巻く背景
6/21 情報発信の考え方
7/21 フィールドワークに同行（阿波おどり会館と徳島駅周辺）
- ・中間発表(11/8)、最終発表(2/7)、全体発表(3/18)にも出席



県立川島高校

- ・令和6年度の探究テーマ「**観光促進**」の中で、「1泊2日の県外からの徳島への旅行商品」の造成を生徒が実施
- ・弊機構は講義やグループワークのサポート（11/21）、学習資料の提供を実施
- ・講義内容：**1泊2日徳島旅行の商品造成について**
→DMOの仕事紹介、商品造成にあたって必要なこと、徳島東部エリアの観光素材、発表方法などを講義
- ・中間発表(12/18)、全体発表(1/20)にも審査員として出席



説明Ⅳ

交付金以外の財源を活用した取組み

31

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.

議事内容：説明Ⅳ

地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進事業 (観光庁補助事業)

東部エリア内の周遊コンテンツとして、徳島ならではの自然・食・文化を存分に楽しめる
インバウンド向け高付加価値サイクルツアーを造成



吉野川カヤック体験



プライベート阿波おどり



巡路体験(霊山寺ほか)



鳴門のコウノトリ



ウチノ海筏釣り体験



出張シェフ 地元食材ディナー



善入寺島プチキャンプ体験



阿波しらさぎ大橋



阿波しらさぎ大橋



長原渡船体験



阿波和紙体験



梅酒試飲・酒蔵見学

3つのモデルコースを造成

①お遍路ライドと阿波文化満喫コース【徳島・鳴門・吉野川・阿波・板野・上板】

主な体験コンテンツ：プライベート阿波おどり／お遍路（霊山寺→法輪寺）／善入寺島プチキャンプ／梅酒

②阿波の文化・自然を満喫！夜はこだわりの地元食材で舌鼓！コース【徳島・鳴門・吉野川・阿波・松茂・藍住】

主な体験コンテンツ：長原渡船／阿波和紙見学・紙漉き／吉野川カヤック／出張シェフディナー

③眉山ロープウェイ輪行と特別釣り体験・海の幸満喫コース【徳島・鳴門・吉野川・阿波・藍住】

主な体験コンテンツ：眉山ロープウェイ輪行／ひょうたん島クルーズ輪行／ウチノ海筏釣り／藍染体験

32

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.

議事内容：説明Ⅳ

徳島古代史周遊コンテンツ造成事業（県補助事業）

「邪馬台国阿波説」や「剣山アーク伝説」など、徳島に数多く存在する不思議な伝承やミステリースポットに着目し、**徳島の古代史にまつわるスポットを巡るファミツアー**を実施

国内旅行会社4社(5名)を招聘し、歴史・文化ツアーのニーズや課題を把握

イラストとくしが担当

Day1

2024.11.24

兜弥呼サミット

忌部神社（徳島市）

大嘗祭の神饌

Day2

2024.11.25

神武天皇ご尊像（徳島市）

立岩神社(式内社論社)（徳島市）

立岩神社（神山町）

結プロジェクト（佐那河内村）

上一宮大葉神社（神山町）

天石門別八倉比賣神社（徳島市）

大御和神社（徳島市）

多祁御奈刀弥神社（石井町）

美馬観光ビューローが担当

Day3

2024.11.26

磐境神明神社・白人神社、鴨神社、丹田古墳、天橋立神社、倭大國魂神社、伊射奈美神社、うたつの町並み など

33

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.

議事内容：説明Ⅳ

小松島・勝浦ファミツアー事業（県補助事業）

立江寺での特別体験、花火の打上実射体験等を含めた新規ツアー商品を造成

12月に**旅行会社インバウンド部門3社(3名)**を招聘し、ファミツアーを実施

	行 程	宿泊先
12/12 (木)	12/11前泊/出発 ホテルサンルート徳島横 ===== 見学 市山焼火筒会（花火工場見学） ===== ふれあいの里さかもと（手巻き寿司体験） ===== 参拝後、道路出発 08:40 09:30～10:40 11:10～13:00 13:20～13:50 道路体験 見学・買物 17:10～数珠づくり / 18:00～夕食 / 19:00～護摩行と住持講話 道の駅ひなの里かつらら ===== 第19番札所立江寺（泊） 20:00出発 花火打ち上げ実射体験＆鑑賞20:10～20:40 20:50帰着 15:05～15:30 15:50 21:00～21:30多宝塔と大講堂見学（時間外特別ライトアップ）	四国霊場第19番札所 立江寺 TEL0885-37-1019
12/13 (金)	朝食7:30～ 体験 見学・買物（産直） 工場見学 立江寺 ===== 浜田農園（しいたけ狩り） ===== みはらしの丘 あいさい広場 ===== 津久司藩跡（小松島ソフド「フィッシュカツ」） 09:00 09:15～10:15 10:20～10:50 11:10～11:40 見学・ショッピング ===== 小松島ルピアく地元スーパー「キヨー・エイ」、ドン・キホーテ小松島店（11月19日オープン）> ===== 11:50-12:30 昼食 到着 ===== お好みハウス 窓子（フィッシュカツを食材としたお好み焼き体験。収穫したしいたけも鉄板焼きで） ===== ホテルサンルート徳島横 12:45～14:10 14:30	



34

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.

議事内容：説明Ⅳ

観光アプリ「しこくろり」を活用したデータマーケティングの推進（県補助事業等）

面的DX（デジタルマーケティングとCRM）の横展開

観光アプリ「しこくろり」参画事業者様の加入促進

令和5年度 観光アプリ「しこくろり」のシステム改修を実施

- しこくろりから得られるデータをデータプラットフォームに蓄積し見える化するシステムの構築
- しこくろりから得られるデータ種類を増加するための改修（位置情報データ・利用者属性等を追加）
- しこくろりの利用者に行動変容を促すシステムの構築（位置情報を活用したプッシュ通知機能等）
- 改修したしこくろりの実証を兼ね、徳島市・鳴門市エリアで運用開始

令和6年度 観光アプリ「しこくろり」を用いたDMPとCRMの本格的な推進

- しこくろりから得られるデータ量を拡大するための取組みの実施
- 得られたデータを専門家会議によって分析し、事業者へフィードバックする取組みの実施
- フィードバックを基にデータ・マーケティングに基づく商品開発やCRMの推進
- 得られたデータを活用し、顧客をリピーター、ロイヤルカスタマー化するためのCRMを推進
- システムの運用を徳島市・鳴門市エリアから、徳島県東部15市町村に横展開

※DMP…データ・マーケティング・プラットフォーム
「インターネット上に蓄積された、マーケティングに有用な
さまざまなデータを一元管理できるプラットフォーム」のこと

※CRM…カスタマー・リレーションシップ・マネジメント
日本語では「顧客関係管理」と言い、顧客情報や行動履歴、
顧客との関係性を管理し、顧客との良好な関係を構築・促進すること



「しこくろり」をダウンロード



35Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.

議事内容：説明Ⅳ

観光アプリ「しこくろり」を活用したデータマーケティングの推進（県補助事業等）

ユーザーにも、事業者にも「使われる」仕組みづくりへ

1. データ数の増加

①ユーザー獲得
利用促進キャンペーンの実施

②参画事業者の増加
地域としてのデータが集まることで、
事業者様のビジネスに有益な情報が
得られることを訴求した営業活動

阿波おどり
しこくろり
おトクに旅しよう



※参考：2024年8月実施キャンペーン

2. ユーザー数の増

キャンペーン事業の実施
とくしまマラソンの時期にあわせて、ダ
ウンロード数の増のため、徳島東部
旅キャンペーン事業を実施

ダウンロード数

2024年3月4万人

2025年3月5万人



3. 対象エリアの拡大

2024年3月 鳴門市・徳島市

2025年3月以降 徳島東部 15市町村

鳴門市・徳島市、小松島市・吉野川市・阿波市・勝浦町・上勝町・
佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・
藍住町・板野町・上板町

旅ばす

しこくろり 徳島東部旅 アンバサダー

- 15市町村全体で「旅ばす」を使えるように
アプリの特集ページを改修
- 更なる利用者データ・蓄積データ拡大をはかり
徳島東部エリア全体にデータ活用文化を醸成

4. アプリ体験の向上

①徳島東部旅アンバサダー
・県外在住者82名が
「徳島東部旅アンバサダー」に就任
・東部エリアで「旅ばす」を使った
旅を楽しんでもらい、アプリの使い方
や旅の満足度を調査

②移動距離ランキングの機能追加
・徳島東部エリアでの移動距離を積算し
ランキング形式に表示する機能を追加
・ゲーム形式で移動する楽しさを醸成





36Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.



阿波藍染めの振興と徳島らしさを感じられる魅力的なまちづくりを推進するための助成制度
令和6年度は28店舗の飲食店が藍のれんを制作 ※令和3年度から累計で120件



徳島東部圏域の11の工房がのれんを制作

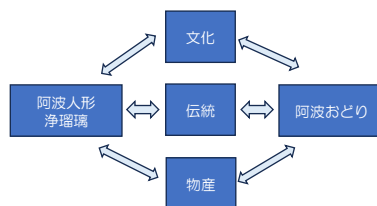


阿波人形浄瑠璃と阿波おどりを軸に、万博で注目される大阪でプロモーションイベントを実施

○徳島は、人形座や太夫部屋の数、人形師数が全国で群を抜き、阿波十郎兵衛屋敷では、国指定重要無形民俗文化財「阿波人形浄瑠璃」が毎日上映
阿波人形浄瑠璃と阿波おどりに関連づけて、徳島の様々な魅力を情報発信

事業内容

- 開場40周年を迎える「国立文楽劇場」で、浄瑠璃に関心の高い層をターゲットにしたPRイベント
 - ・日時：令和6年11月2日（土）～4日（月）AMまで
 - ・場所：国立文楽劇場（大阪市中央区）
 - 1 階エントランス（一般の来場自由）
 - 2 階演劇場入口（チケット購入者のみ）
- PRイベント内容
 - ・人形師の仕事場展示 ・農村舞台襖絵の展示
 - ・阿波木偶の展示 ・城北高等学校民芸部に二公演
 - ・徳島の物産（藍染め、徳島銘菓、阿波おどりグッズなど）
 - ・観光PR、旅行商品の紹介など
- 参画団体
 - 徳島市、イーストとくしまDMO、徳島県、
 - 阿波農村舞台の会（阿波十郎兵衛屋敷）
 - 徳島県立城北高等学校





徳島県移住交流室「アフケーション事業」の一環として、
東部エリアのワーケーションモデルプラン造成・SNS投稿記事作成を受託

①親子向けモデルプランの造成



②SNS投稿記事の作成



目的：阿波おどりの情報発信を通して香港から徳島市へ足を運ぶきっかけを提供

時期：2024年12月－2025年3月

内容：リール映像 15本／15本に対する広告出稿

事業効果： リール15投稿・フィード26投稿で、フォロワー1602人増加

2025/03/25(火)17:14現在 | 9988人



期間計 **1602** フォロワー増加

香港在住のフォロワーが伸長し、全体の12.4%

1/08(水)時点：2.1%÷ 180人

2/19(水)時点：8%≒ 735人

3/25(火)時点：12.4% ≒ 1238人

議事内容：説明Ⅳ

日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）の取得（観光庁事業）

持続可能な観光地域づくりに向けた取組み

■ イーストとくしまでは、国や関係機関の動きに連動して、国際基準に準拠し日本版にカスタマイズされた、「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」に基づく、取組みを推進。

※国や関係機関が掲げている目標値

国(観光立国基本計画)	2025年までに全国で100地域がJSTS-Dロゴ取得	53地域 R7.3時点
四国ツーリズム創造機構	2025年までに四国内で16団体がJSTS-Dロゴ取得	9団体 R7.2時点

■ JSTS-Dに基づく取組みを行っていることを組織として国内外に明示できるロゴマークを10月末に取得した。

・ 全国で53の団体（イーストとくしまを含む）が取得

※2025.3時点

・ 県内DMOでは、初の取得

・ 県内の団体では、三好市に次いで2番目の取得

【ロゴマーク取得の要件】

・ 団体の観光計画等で、「日本版持続可能な観光ガイドライン」を遵守し、持続可能な観光に向けた取組み内容が明記されていること

・ 団体所属する現役担当職員がGSTCサステナブルツーリズム研修プログラムの研修を修了し、その他との試験に合格していること

※イーストとくしまでは2024年度に2名が研修を修了し、試験にも合格済み



「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」のロゴマーク

43

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.

ご清聴ありがとうございました



イーストとくしま
観光推進機構
East Tokushima Tourism Authority



○ お問い合わせ先

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構

電 話：088-678-2811

メール：contact@east-tokushima.jp

44

Copyright © East Tokushima Tourism Authority 2025 . All Right Reserved.